

講義名称	平和学	担当教員名	李 元重
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教 CA3 DI1	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM118

授業のキーワード	平和、構造的暴力、キリスト教
授業の概要	戦争がないという平和に対する消極的な理解を超え、積極的な理解に基づいて現代日本社会を考察、分析します。平和というテーマから日本社会が直面している課題を理解し、平和を作るための活動を考えます。
期待される学習成果 (目標)	1. 平和を学術的、積極的、キリスト教的な視座で理解する。 2. 現代日本と国際社会に対して平和という視点から説明できる。 3. 平和のために働く動機を持つことになる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概要、進行方法、評価などを説明します。
2	平和の理解	平和と暴力について深く、学術的に考えます。
3	平和の理解	同上
4	日本と戦争1	フィールドトリップ (原爆の凶丸木美術館、群馬の森：日時および場所は変更することがあります)
5	日本と戦争2	日本がどのようにして戦争に向かったのかを学びます。
6	構造的暴力の実状	日本社会と歴史における様々な暴力について考えます。
7	平和のための歴史	歴史認識問題と平和の関連性を考えます。
8	キリスト教の平和	shalom、eireneなど、キリスト教における平和の概念を理解します。
9	キリスト者の平和思想	日本のキリスト教の平和思想と活動について学びます。
10	子どもの貧困	左記の本テーマについて担当学生が発表し、話し合います。
11	元従軍慰安婦	左記の本テーマについて担当学生が発表し、話し合います。
12	日本社会の差別	左記の本テーマについて担当学生が発表し、話し合います。
13	沖縄の米軍基地問題	左記の本テーマについて担当学生が発表し、話し合います。
14	気候変動と平和	左記の本テーマについて担当学生が発表し、話し合います。
15	まとめ	今まで学んだ内容をまとめ、平和のために働く道を話し合います。

定期試験	定期試験は行いません。
授業時間外学習	配布される資料を事前に読みます。各自担当したテーマに関する資料を収集し、発表を準備します。発表後には、議論した内容を反映して期末レポートを提出します。
評価方法	①授業への積極的な参加(30%)、②研究発表(30%)、③期末レポート(40%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	特になし。授業中、次の授業のための読み物を配布します。
参考文献	平井朗ほか『平和学の今』法律文化社、2020年。木戸衛一篇『平和研究入門』大阪大学出版会、2014年。その他多数を授業中に提示します。